



買い物客で賑わう戸越銀座商店街

東京都

品川区

ウェルビーイングの視点から
～子どもとともに成長する
新時代のSDGsしながわ～



人口 408,280 人 面積 22.84 km²

都市の特長

東海道第一の宿場町、品川宿が区名の由来。ITベンチャー企業等が集積するビジネス街や、大規模な産業用地・コンテナふ頭がある臨海部の埋め立て地や、閑静な住宅街など、多彩な表情を持っている。

品川区

SHINAGAWA CITY

子どもとともに創る
ウェルビーイング
シティしながわ

品川区は子どもの割合が東京23区の平均に比べて高いこと、「五反田バレー」と呼ばれるIT企業・スタートアップの集積があることが特徴である。今後は、手厚い子育て支援や子どもたちへのビジネス教育の実施により、次世代の担い手として活躍できる人材を育成するほか、産官学連携による社会課題の解決を進め、子どもたちが将来活躍できるフィールドを育てる。

01 しながわSDGs共創推進プラットフォーム

区内企業や地域で活動する団体、その他区役所各部署等から構成され、区全体のSDGsを推進するための中核的な役割を担う。多様なステークホルダーの視点から意見交換や情報交換を行うことにより、課題解決に向けての方向性を示す。しながわシティラボ等と連携し、社会課題の抽出や実証実験フィールドの検討等を行う。

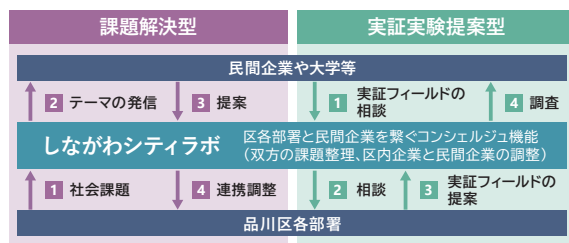
多様な主体によるSDGsに関する共創を推進



02 しながわシティラボ

民間企業や大学等からの提案により行政の抱える社会課題を解決し(課題解決型)、また、行政が民間企業等へ新サービスの実証実験の場を提供すること(実証実験提案型)により、新たなソリューションを創出するといった双方向の連携を推進する。

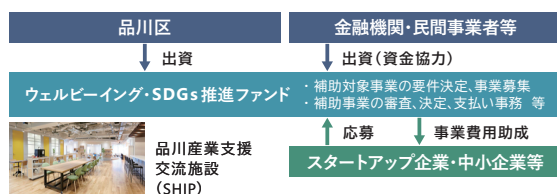
区・企業等の相互に発信・連携するプラットフォーム



03 ウェルビーイング・SDGs推進ファンド

SDGsを推進するスタートアップ企業や中小企業、団体等を支援するため、区と民間企業等から募る資金を財源に「ウェルビーイング・SDGs推進ファンド」を創設。ファンドの活用については、「ウェルビーイング・SDGs推進事業実行委員会」が行い、支援対象事業の要件決定や事業の募集および審査等を実施する。

持続可能な社会の構築



各取組の詳細はこちら

取組 01~03



04 アントレプレナーシップ教育プログラム

小中学生を対象としたアントレプレナーシップイベントを実施。経済の仕組みや商売の基本を学ぶ講座や、起業家としての生き方を学ぶ起業家教育を開催する。更に、五反田バレーの経営者との交流により、将来のキャリア形成の選択肢として起業や創業があることを知ってもらうとともに、課題解決に挑戦する精神と資質・能力を育む。

将来の起業家を育成



インタビュー

Interview

01 ウェルビーイングな社会の実現に向けて



品川区長
森澤 恭子 さん

次世代を担う子どもたちが、誰一人取り残されることなく自分らしく成長できる、人がつながり支え合う、やさしく寛容な社会をつくることが重要だと考えています。人々の不安や不満などの「不」を取り除き、未来に希望が持てる社会・未来を実現するため、品川区から一人ひとりがウェルビーイングを実感できるまちづくりを進めていきます。

戸越公園の紅葉



02 地元密着の起業家を育成



品川区立西大井創業支援センター
センター長 野田 賀一 さん

当センターは創業の伴走支援を行っており(対象:起業前～起業後おおむね3年以内)、学生起業、副業からの起業、ソーシャルビジネスが支援テーマです。令和6年度から、小・中学生向けのアントレプレナーシップ教育に注力をする形で、夏休みに3日間の連続講座を企画開催しました。起業に馴染みがない小・中学生向けのイベント企画運営ということで、言葉遣いや資料の作り方、ファシリテーターとの認識合わせに苦労しましたが、参加した学生から「起業が身近に感じられた」「楽しく学べた」という声を多数いただくことができました。当センターで支援した起業家の姿に憧れた子どもたちが、地元密着で活動し始め、それを大人たちが応援していくというエコシステムを構築していきたいです。

今後の展望

子どもの柔軟な発想をまちづくりに取り入れることで常識に捉われない新時代のSDGs推進都市をめざす。本事業では、子育て環境の充実や、未来を担う次世代の育成、子どもの柔軟な発想のまちづくりへの反映などを盛り込んだ。今回の選定を機に、SDGsを牽引する代表として、一人ひとりがウェルビーイングを実感できるまちづくりを進めていく。

そのほかの取り組み

「子ども・若者応援フリースペース」による居場所づくり

子ども・若者が安心して気軽に利用・相談できる拠点を開設し、様々な「生きづらさ」を持つ子ども・若者を対象として居場所を提供している。



「スチューデント・シティ」による経済活動体験

区立学校に通う小学生を対象に、実際の店舗を再現し、働く人や消費者の疑似体験を通して社会や経済の仕組みを理解する機会を提供している。



環境学習交流施設「エコルとごし」による体験型環境学習

「Nearly ZEB」認証を取得した環境にやさしい建築物であり、体験型展示や多彩なイベント・講座など、環境を楽しみながら学ぶ機会を提供している。

